

令和4年度事業報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人 桂の泉

令和4年度事業報告書

法人を設立して15年、学園を設立して14年を迎えた。
当年度は31名の利用者でスタートした。新規や復帰の利用者はなかった。
利用者1名が一人暮らしの生活が乱れ、通うことができなくなった。各関係機関とも連携して支援を尽くしたが、改善することがなく退所となった。
当年度も新型コロナウイルスの影響を受けた。昨年度のような集団感染はなかったが複数の利用者が感染した。ただ、迅速な対応と自宅療養の効果で、感染拡大を防止することができた。就労支援収入も新型コロナウイルスの影響で減少した。また当年度も長期の欠席者（病気療養）が複数おられ、出席率の低下につながっている。

1. 令和4年度の法人運営

(1) 福祉事業活動について

障害福祉サービス費（訓練等給付費）（京都府国保連）

42,705,432 円
(前年比 94.1%)

(2) 社会福祉充実計画について

社会福祉充実計画に基づいて、グループホームの開設準備に向けた調査検討を継続した。

2. 令和4年度の桂の泉学園の運営

(1) 利用者状況について

- ・利用者数 31名
新規通所者0名、退所者1名
- ・3/31 現在（利用者30名）の障害内訳（手帳上の内訳）重複1名は計上せず。
知的障害 28名
身体障害 1名
精神障害 1名
- ・出席率 84.0%（昨年度は79.0%）

(2) 利用者支援について

・就労支援事業について

収入 7,480,021 円
(前年比 94.86%)
京都市就労継続支援 B 型工賃補償補助金 0 円
(前年比-514,835 円)
総収入 7,480,021 円
(前年比 89.0%)

a.喫茶部門

売り上げは新型コロナウイルスの影響で、観光客の減少もあったが、他施設の貸し切り営業等もあり売り上げは増加した。

収入額 2,222,665 円
(前年比 101.7%)

b. 下請け部門

原材料費が必要ないため作業量の分だけ利益があることが利点である。利用者の障害特性に合わせた作業内容を組むことができ、誰でも参加できる。取引企業様も新型コロナウイルスの影響を受けた模様で、受注する仕事量が減り、減収となった。

収入額 3,707,589 円
(前年比 90.9%)

c. 自主製品部門

縫製製品作りを中心に、曜日を固定して「山吹」にて作業を行っている。ミシンの作業は集中力の持続と器用さが必要で、従事できる利用者は少ない。担当職員が育児休業中で、生産力が大きくダウンした。今後も新たな製品開発や生産量を増やすことが課題である。

収入額 77,200 円
(前年比 48.8%)

d. 出張清掃部門

京都市上下水道局の鳥羽水環境保全センターと京都市消防局消防学校管理の公園を週に各2回ずつの計4回作業を行っている。他の部門と比較しても収益率は高い。ただ、屋外での作業で季節によっては労働環境は過酷であり、従事する利用者はどうしても限られてしまう。

収入額 1,472,567 円
(前年比 100.4%)

- ・ 工賃支払総額（ボーナスを含む、年度単位の報酬） 5,745,460 円
(前年比 97.4%)
一人あたりの平均工賃月額 15,698 円（昨年度は 14,852 円）
※長期欠席者を除いた平均工賃は 16,898 円
- ・ 年間開所日数 249 日 出席率 84.0% (前年度は 79.0%)
- ・ 土曜開所
計 8 回開催 延べ 102 名参加 平均参加利用者数 12.8 名
(前年度：計 5 回開催 延べ 72 名参加 平均参加利用者数 14.4 名)

(3) 職員体制について

正職員 6 名（うち 2 名の女性職員が育児休業中）
嘱託職員 2 名
パート職員 1 名
その他喫茶業務委託先（シルバー人材センター）より 3 名
常勤 8 名、パート 1 名、派遣 3 名 計 12 名（2 名が育休中）

(4) 安心・安全の確保と防災対策

- ・ 避難訓練の実施（2 回）

(5) 実習生の受け入れ等について

- ・ 施設見学（研修）者等
4/28 56 歳男性（チャレンジ就労体験事業利用者）

5/12 28歳女性（その後実習）
6/20 23歳男性
6/24 近隣放課後デイ事業所職員2名見学研修
8/12 西総合支援学校保護者6名見学
9/2 西総合支援学校教員5名見学研修
10/12 同志社大学メディカルワークショップ A日程学生2名研修
10/13 同志社大学メディカルワークショップ B日程学生2名研修
11/25 西総合支援学校2年生2名と保護者見学
11/29 西総合支援学校1年生3名と保護者見学

- ・実習生等
5/19～26 28歳女性（通所には至らず）

（6）余暇支援・社会見学活動等について

- ・京都とっておきの芸術祭への出展
12/1～4 於：みやこめっせ（計4名の利用者が絵画と書を出展）

・実施行事

- ・12/21「伊勢おかげ参り」

秋に予定していた日帰りバス旅行は新型コロナウイルス拡大に伴い中止とした。「伊勢おかげ参り」は感染者が減少したことを見極めて決行した。旅行は貸し切りバスの台数を倍に増やし、一人あたり2座席とし、バス会社の感染予防ガイドラインに従って行動した。

（7）職員の資質向上、労働環境改善のための取り組み（研修会等の参加）

・職員参加外部研修・会議

参加予定の会議・研修の多くが延期やオンライン開催となった。当学園はオンラインでの参加が難しい環境だが、工夫しながら受講した。

- 5/30 社会福祉法人役員等研修会・指導監査等説明会（施設長）
- 11/24, 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース（新人女性職員）
- 12/1 性職員）
- 12/6 自由同和会人権セミナー（男性職員）
- 3/2 京都府民間社会福祉施設職員共済会説明会（男性事務職員）
- 3/16 社会福祉人材育成認証制度スタートアップセミナー（施設長）

（8）地域の活動への参加、社会貢献活動

- ・京都市福祉避難所事前指定
- ・京都市災害時協力井戸登録
- ・地域のイベント等への参加＝新型コロナウイルスのため中止
- ・桂東学区社会福祉協議会会議・研修会への職員派遣（主任）
- ・近隣の地域密着型サービス事業者の運営会議への参加（施設長）＝中止
- ・加盟団体主催行事への職員派遣＝中止
- ・チャレンジ就労体験事業の受託（地域の生活保護受給者の実習受け入れ）
- ・生き方探求・チャレンジ体験推進事業における地域中学生の受け入れ＝中止
- ・西京安心安全花いっぱい運動への参加
- ・西京区社会福祉協議会設立30周年記念祝賀会出席（施設長）

3. その他

(1) ボランティア
地域の中高齢者を中心に20名（3月末現在）が登録

(2) 新型コロナウイルスの対応について

桂の泉学園では令和3年度に利用者4名と職員3名が感染し、施設は約2週間臨時休業を余儀なくされた。当年度は利用者が計5名感染した。いずれも家庭やグループホーム内での感染と考えられ、一定期間の自宅待機で感染は広がらなかった。また家族等が感染して濃厚接触者に該当した利用者2名と職員1名も自宅にて待機した。

○具体的な感染対策等

- ・全職員対象に週3回の抗原検査の実施
- ・手洗い（医師による指導を受講）・うがい・手指の消毒の徹底
- ・マスク着用の徹底
- ・来園者全員の検温の実施と体調の聞き取り
- ・園内で3密を避けるような配慮
- ・換気の徹底
- ・二酸化炭素濃度計の主要箇所への設置
- ・デジタル酸素飽和度メーターの導入
- ・食堂と作業室に計4台の空気清浄機を設置
- ・共用部分の消毒の徹底
- ・昼食の2部制の実施とパーテーションの設置、黙食の指導
- ・朝礼、終礼での注意喚起
- ・文書による通所意思確認
- ・ワクチン接種

かかりつけ医院等でワクチン接種の難しい利用者及び職員を、指定協力病院の泉谷病院のご厚意で行う。

8/26・29 4回目のワクチン接種、利用者・職員の計13名を2班に分けて行う。

11/11・18 4回目（オミクロン株対応）のワクチン接種、利用者計8名を2班に分けて行う。

12/8・9 5回目のワクチン接種、利用者・職員の計12名を2班に分けて行う

- ・喫茶いづみのガイドラインを遵守した営業
（お客様への消毒とマスク着用の依頼、座席を減らしてパーテーションの設置、座席・テーブルのこまめな消毒）